

目 次

序 章	所与の前提状況としての共生	笠井 賢紀	2
	1 「共生」とは何か	2	
	2 誰と誰の「共生」か	4	
	3 私たちに課された共生の試練	7	
	4 本書の構成	10	

第 I 部 共生の基盤

第 1 章	共生経済としてのフェアトレード	山本 純一	14
	——グローバルゼーションへの対抗運動の可能性と課題——		
	1 共生社会の経済的基盤としてのフェアトレード	14	
	2 フェアトレードの発展とその概念の変容	16	
	3 グローバリゼーションへの対抗策——ローカリゼーションか、グローバルゼーションとの「共生」か	19	
	4 フェアトレード・タウン運動——新たな「共生」を求めて	23	
	5 資本主義経済と「共生」するフェアトレード	25	
第 2 章	キリスト教倫理から見た共生と公共宗教	田島 英一	29
	1 中国共産党とキリスト教の「相性」	29	
	2 義の論理と利の論理	31	
	3 彼岸と、此岸の四象限	37	
	4 米国の「新デュルケムモデル」	40	
	5 公共宗教論	44	
第 3 章	「我々の世界を変革する」SDGsの展開と共生社会		
	——「他人事」から「我が事」へ——		
	 野田 真里 48		
	1 「我が事」としてのSDGsと共生社会	48	
	2 SDGsと共生の思想の二面性	49	
	3 「越境」し「折り合いをつける」共生の作法とSDGsによる社会変革	53	
	4 開発パラダイムと文化の「越境」・		

【共生の系譜】

「生」に帰一する思想と実践 香川 敏幸 63

- 1 他者と共にあり、共に生きる存在 63
- 2 蟹気楼のような「共生社会」 64
- 3 共生社会と宗教性——日本人の精神文化から見る 66
- 4 「人生100年時代」の到来と共生 71

第Ⅱ部
共生の担い手

第4章 内発的發展を牽引するまちづくり人材 竹山 和弘 76

- 1 2つの転換に向けて 76
- 2 人口減少社会と内発的發展論 77
- 3 再帰的専門家と地方自治体職員 82
- 4 PSMを通じた地方自治体職員の人材育成 86
- 5 内発的まちづくりへのコンヴィヴィアルな関与 89

第5章 多文化社会のための共闘と共生 原 めぐみ 92
——Minami こども教室の日常的実践から——

- 1 前提としての多文化共生 92
- 2 多文化共生の概念と論点 93
- 3 Minami こども教室の概要 96
- 4 多文化共生の作法 98
- 5 立場の二項対立を超えた共闘と共生 106

第6章 孤立からの脱却を支えるコーディネータ 伊藤 綾香 108
——高齢者見守り活動の実践より——

- 1 孤立・孤独の課題と見守り活動 108
- 2 これまでの「見守り」の概況 109
- 3 「孤立」「孤独死」と地域住民同士の「共生」 113
- 4 見守り活動が定着した地域におけるコーディネータの存在 116
- 5 コーディネータの育成に向けて 120
- 6 コーディネートスキルを發展させるために 122

【共生の事例】

まちづくりにおけるガバナンス 市川 顕 125

——インターメディアエ이터としての大学生の役割——

- 1 インターメディアエ이터とコミュニティ・ガバナンス 125
- 2 まちづくりにおけるガバナンス 126 3 共生可能なまちづくりのアクター 129
- 4 関西学院大学産業研究所のまちづくりプロジェクト 131
- 5 まちづくりプロジェクトを通じた大学生の学びと役割 133
- 6 インターメディアエ이터としての大学生 138

【共生の事例】

高校魅力化プロジェクトから見る共生社会

——隠岐島前高校と津和野高校の実践例から——

..... 山本 竜也・長谷川 大介 141

- 1 島根県における高校魅力化プロジェクト 141
- 2 高校魅力化プロジェクトとは 142
- 3 島前高校における高校魅力化と共生 143
- 4 津和野高校における高校魅力化と共生 145
- 5 高校魅力化プロジェクトの展望と課題 149

第Ⅲ部 共生の場と表現

第7章 地域における共生の場の生成 大谷 尚之 152

——アニメ聖地・埼玉県鷲宮を事例として——

- 1 アニメ聖地で生まれる共生 152
- 2 埼玉県鷲宮とアニメ『らき☆すた』 153
- 3 共生における中間領域の役割 160
- 4 ホスピタリティがつなぐ縁 163
- 5 中間領域づくりの難しさと可能性 165

第8章 落語と共生社会 工藤 保則 168

——自分に対するこだわりのなさから生じるつながり——

- 1 落語人気 168
- 2 落語の国の人々 169
- 3 落語と仏教 174
- 4 つながりの芸能 177
- 5 笑いという希望 179

第9章 ポピュラー音楽が媒介する「移民国」ドイツの共生
..... 高岡 智子 182

- 1 東西ドイツにおけるポピュラー音楽 182 2 ケムニッツ事件
とミュージシャン 183 3 ハノーファーのラップ・オペラ 184
4 若者と大人の相互理解 190 5 「ドイツの」主導文化と新しい
文化 192 6 異なる文化が会う場としての音楽 195

第10章 米国VICE Mediaの表現形式にみる共生 松本 章伸 200

- 1 米国・メディア界に「黒船」現る 200 2 VICEが謳う共生の
概念 202 3 VICE流共生の描き方 204 4 VICEの映像コン
テンツのフォーマットにみる共生の表現方法 208
5 マーケットに裏付けされたVICEのコンテンツと今後 212

【共生の事例】

「グローバル・エシカル教育」の実践と評価 神谷 祐介 216

- 1 グローバル・エシカル教育とは？ 216 2 グローバル・エシ
カル教育の実践方法 217 3 事例その1——SDGsアトラクション
の開催と効果検証 218 4 事例その2——エシカル行動を促す
フィールド実験 221

終章 共生社会・共生経済の構築に向けた研究と実践
..... 笠井 賢紀 225

- 1 共生の思想の基盤 225 2 共生の作法の担い手 227
3 共生の場と表現 229 4 よりよい共生を目指して 230

あとがき

*本書収録のすべての原稿は、龍谷大学社会科学研究所委員会内の専門委員による査読を経て掲載が承認されたものである。